

復旧までの道のり

① 復旧を支えたみんなの力

洪水が流れ込んだまちは、道路や家の中に土砂が入り込んだり、水道が使えなかったりして、普段の暮らしができなくなりました。一日も早く元の暮らしに戻れるよう、住民とたくさんのボランティアの人たちが協力して復旧作業を進めました。



洪水で流れ込んだ泥のかき出し作業(宮津市)

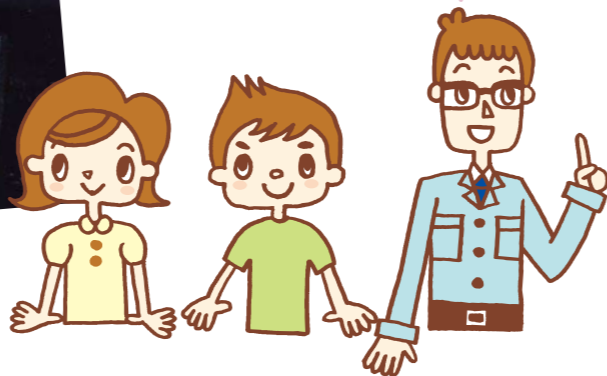


陸上自衛隊による給水活動(舞鶴市倉梯町)



心のコもった炊き出し

府内からだけでなく、近隣府県からも延べ1万2,000人以上が応援にかけて、みんなが復旧を願って汗を流したんだね。



田畑に流れ込んだ石や草木の取り除き作業(舞鶴市西方寺地区)



どろ泥まみれのたたみを懸命に運び出す人たち



京都駅前からボランティアをのせたバスが出発(京都府社会福祉協議会提供)



テントを建ててボランティアの受付を開始



高校生の参加で町に元気が

大江町社会福祉協議会(現・福知山市社会福祉協議会) 早川 貴子さん

ボランティアセンターを被災後すぐに立ち上げました。社会福祉協議会の全国的なネットワークを利用してボランティアを募集し、また地域には有線放送やチラシを使ってお知らせしました。ボランティアと派遣先との橋渡しや案内役に地域の人が協力してくれたことが大きな助けとなりました。日ごろから地域の人とつながりがあると、緊急時に力になることを知りました。地元の高校生も積極的にかたづけに参加してくれ、その姿をとおして多くの人が元気をもらいましたね。

復旧作業に参加した地元の大江高校の生徒たち(福知山市大江町) 大江高等学校提供



① 復旧を支えたみんなの力

② 河川の復旧

③ 土砂災害の復旧

④ 道路・交通網の復旧

⑤ まち・産業の復旧